

ハッピー(8%)ごみ減量プラン

(第4次豊中市ごみ減量計画)

令和6年度 (2024年度) 事業等報告書 速報版

ハッピー（8％）ごみ減量プラン事業等報告書速報版は、当プランの年度ごとの進捗状況を速報版としてまとめたもので、ごみの状況をみなさんにわかりやすく紹介するとともに、ごみ減量施策の進捗状況に対し、ご意見をいただき、今後の事業展開に活かすことを目的としています。

【ハッピー（8％）ごみ減量プランの改定】

市は、令和5年（2023年）3月、廃棄物を取り巻く社会情勢や新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の変化に対応するため、「第4次一般廃棄物処理基本計画」を改定。これに合わせ、アクションプランである「ハッピー（8％）ごみ減量プラン」についても改定を行いました。

【ハッピー（8％）ごみ減量プランの概要】

基本理念は



○協働で取り組む循環型社会の構築

基本施策は



○廃棄物の減量に向けた発生抑制・再使用と質の高いリサイクルの推進
○廃棄物の適正処理の推進

【ハッピー（8％）ごみ減量プランの減量目標】

減量目標

ごみの焼却処理量を令和9年度(2027年度)には平成28年度(2016年度)実績より8%削減

平成28年度(2016年度)
103,584t / 年

8,303t削減



令和9年度(2027年度)
95,281t / 年

個別目標

★家庭系ごみ1人1日当たり量(再生資源除く)

平成28年度(2016年度)
414g / 人 / 日

20g削減



令和9年度(2027年度)
394g / 人 / 日

★事業系ごみ量(再生資源除く)

平成28年度(2016年度)
43,099t / 年

約6千t削減



令和9年度(2027年度)
36,601t / 年

★食品ロス1人1日あたり量

平成12年度(2000年度)
166g / 人 / 日

57.2g削減



令和9年度(2027年度)
108.8g / 人 / 日(必達目標)

71.3g削減



令和9年度(2027年度)
94.7g / 人 / 日(高位目標)

令和6年度(2024年度)のごみ減量の進捗状況

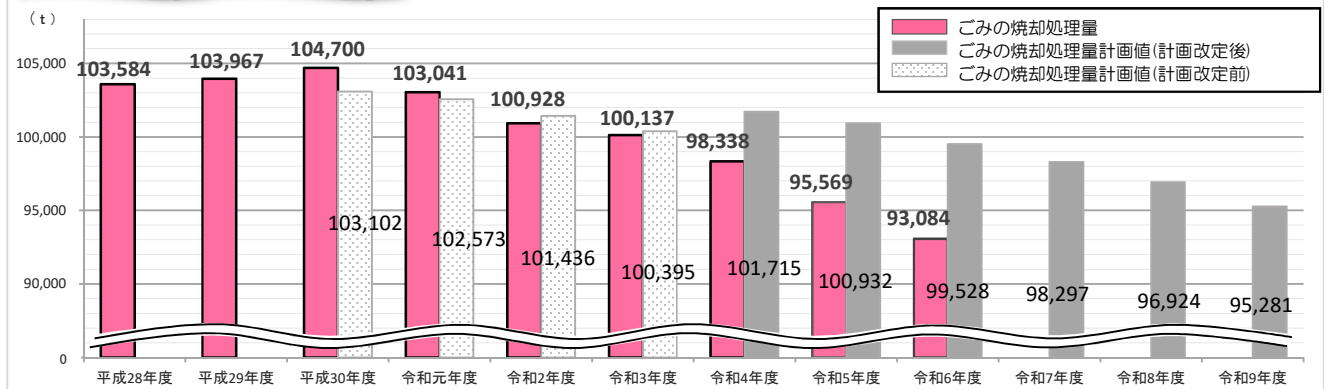
減量目標

最終目標値
95,281トン
(計画改定前は95,368トン)

ごみの焼却処理量

ごみの焼却処理量
令和5年度 2,485トン減 95,569トン
令和6年度 93,084トン

目標達成



・ごみの焼却処理量：豊中市伊丹市クリーンランドにおいて焼却処理されるごみの年度合計量

審議会からの評価

当年度の目標値を大きく上回っています。市民・事業者によるごみ減量に向けた取組み、及び物価の高騰による個人消費の抑制、さらにはこれまでのごみ減量施策による排出抑制により減少したと考えられます。今後も継続して家庭系・事業系ごみの減量に向け、効果的な施策に取り組む必要があります。

個別目標

家庭系ごみ1人1日当たり量・家庭系ごみ量(参考)

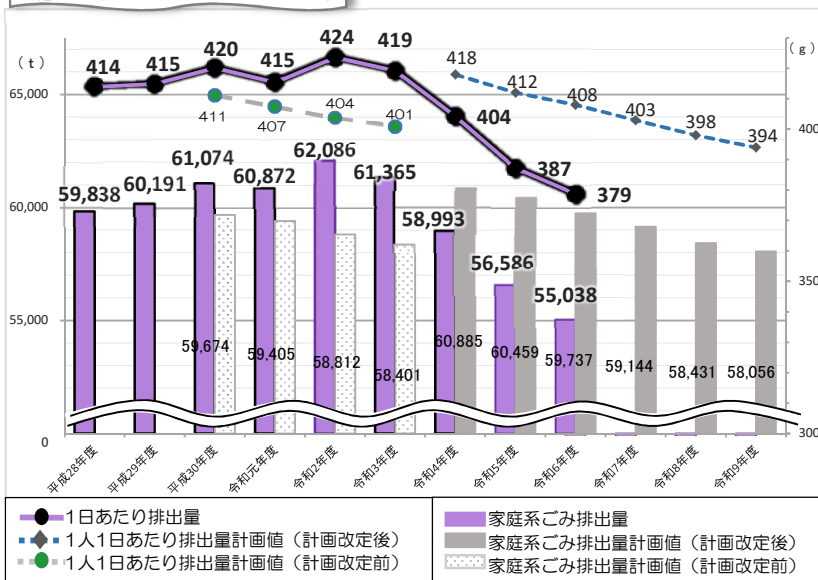
最終目標値
394グラム
(計画改定前は386グラム)

家庭系ごみ1人1日当たり量
令和5年度 8グラム減 387グラム
令和6年度 379グラム

家庭系ごみ量

令和5年度 1,548トン減 56,586トン
令和6年度 55,038トン

目標達成



・家庭系ごみ1人1日当たり量：豊中市伊丹市クリーンランドへの家庭系ごみ(可燃・不燃・粗大ごみ)搬入量(再生資源を除く)の市民1人1日当たり量

主な取組み

- ◆子ども服リユース・臨時ごみリユース
- ◆ごみ分別アプリ、豊中市公式LINE、とよなか環境TV内での分別案内、周知啓発
- ◆再生資源集団回収報奨金交付事業
- ◆再生資源買取市事業
- ◆廃棄物減量等推進員制度による地域に密着したごみの減量、再資源化の推進

審議会からの評価

家庭系ごみの排出量については、環境意識の向上、物価高騰による個人消費の抑制により減少したと考えられます。今後社会情勢がどのように変化しても、継続してごみを減らす、再資源化を促進するといった取組みを実施する必要があります。

令和6年度のトピックス①

子ども服をリユースしています

市内のこども園等で、着なくなったまだ使える子ども服などを集めて、必要としている人に提供する場を設けてリユース(再利用)してもらうことで、捨てるのではなく資源を有効活用し、ごみの発生抑制につなげるとともに、子育て世帯のサポートを行っています。令和6年度(2024年度)は、11,667点の子ども服を無償配布しました。



イオンSENRITO専門館のSDGsイベント



とよなか市民環境展

個別目標

事業系ごみ量

最終目標値
36,601トン
(計画改定前は38,191トン)

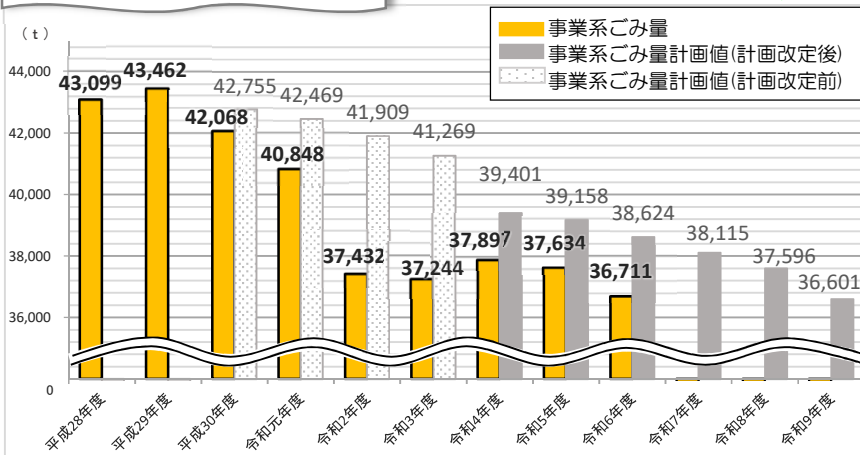
事業系ごみ量
令和5年度 37,634トン
923トン減
令和6年度 36,711トン

主な取組み

- ◆事業系一般廃棄物管理責任者研修会の実施
- ◆ごみ処理施設での搬入物展開検査
- ◆事業者向けごみ減量周知啓発「リニュース」の発行
- ◆多量排出事業所へのごみ減量指導

審議会からの評価

社会情勢の影響に加え、ごみの発生抑制や適正処理の意識が浸透していることから減少したものと考えられます。今後も事業者のごみ減量に向けた取組みを推進する必要があります。



・事業系ごみ排出量：豊中市伊丹市クリーンランドへの事業系ごみ搬入量（再生資源を除く）の年度合計量

個別目標

食品ロス1人1日当たり量

最終目標値
108.8グラム（必達目標）
94.7グラム（高位目標）

食品ロス1人1日当たり量
令和5年度 107.1グラム
2グラム減
令和6年度 105.1グラム

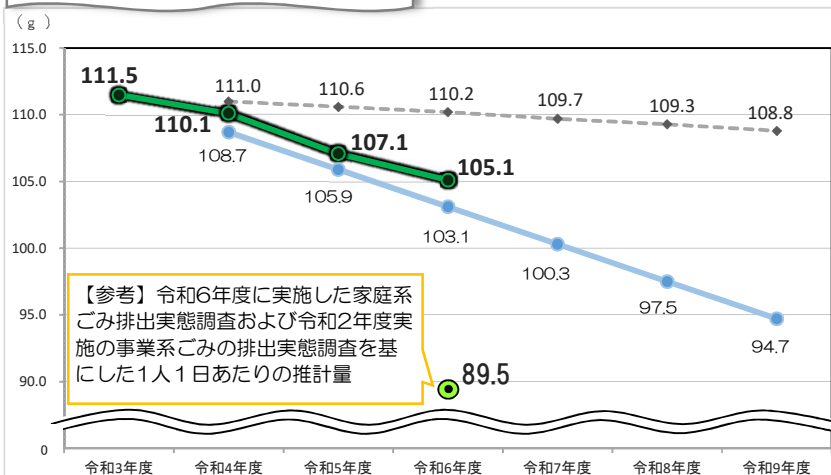
【食品ロス1人1日当たり量】
家庭系および事業系ごみ量の実績値に、排出実態調査における食品ロスの組成割合を乗じて算出した推計量。

主な取組み

- ◆フードドライブ活動の促進
- ◆子ども向け食品ロス削減に向けた普及啓発冊子の発行、市ホームページ、とよなか環境TVでの周知動画配信
- ◆食品関連事業者における食品ロス削減の取組みの促進

審議会からの評価

家庭系ごみ量及び事業系ごみ量に紐づいて増減する推計量であり、ごみの減少により、相対的に食品ロス量が減少しています。「食べ切り」「使い切り」という意識の向上や、物価高騰による個人消費の抑制が食品ロス割合の減少につながったと考えられます。今後も継続して食品ロスの削減に向けた取組みを推進していくことが必要です。



【参考】令和6年度に実施した家庭系ごみ排出実態調査および令和2年度実施の事業系ごみの排出実態調査を基にした1人1日あたりの推計量

● 1人1日あたり排出量(令和元年度の家庭系ごみ、令和2年度の事業系ごみの排出実態調査の組成割合を基に算出)
◆ 1人1日あたり排出量計画値(必達目標)
● 1人1日あたり排出量計画値(高位目標)

参考指標

リサイクル率

進捗状況

- 計画改定後、参考指標に位置付けました。
- 令和5年度は15.7%でした。
- 令和6年度は15.9%で、0.2ポイント増加しました。

今後の方向性

社会全体で徹底した資源循環の促進が求められるなか、今後も循環型社会への移行に向けた普及啓発、適正な分別・排出の取組みを推進していきます。

令和6年度のトピックス②

一般廃棄物管理責任者研修会を実施しました

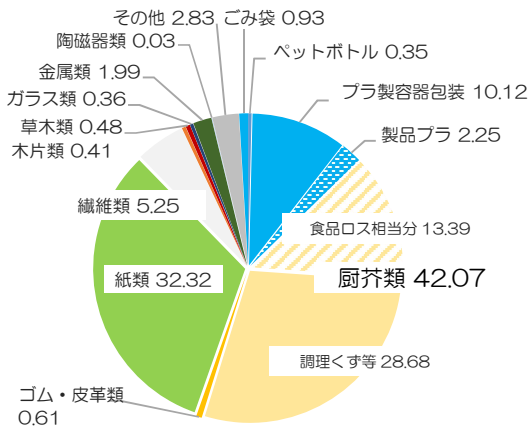
事業系ごみの適正処理及び減量をより効果的に進めるため、延べ面積3,000㎡以上または一般廃棄物を月3トン以上排出する多量排出事業所（令和6年度 298事業所）の一般廃棄物管理責任者を対象に年1回研修会を実施しています。令和6年度（2024年度）は、事業系ごみの適正処理に関する研修動画を10月1日～11月15日の期間、YouTubeにて配信し、724回視聴いただき、106名の方からアンケートの回答をいただきました。



家庭系ごみ排出実態調査の結果

【調査期間：令和7年（2025年）1月8日～1月31日】

可燃ごみ組成割合（重量比：％）



○組成概要

可燃ごみの42.07％は厨芥類で占められ、そのうち13.39％が食品ロスに相当します。この食品ロスの約半分は「手を付けていない食料品」で、残り半分は「食べ残し」でした。次に、紙類が32.32％を占め、リサイクル可能な雑がみ（封筒、コピー用紙等）等が、約12％と高い割合で含まれていました。プラスチック類は13.65％を占め、10.12％がプラスチック製容器包装で、なかでも汚れていないにもかかわらず排出されていたものが7.27％含まれていました。量に換算すると約3,900トンとなり、これは、令和5年度にプラスチック製容器包装に含まれていた、分別収集適合物の約1.5倍の量に相当します。

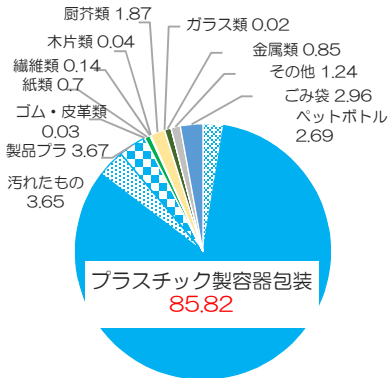
【手を付けていない食料品】



【食品ロス相当分排出状況】

項目	重量（t）	重量比（％）
手を付けていない食料品	3,274.44	14.57
100％原形保持	2,211.38	9.84
半分以上原形保持	1,063.06	4.73
食べ残し（流出水分等含む）	3,873.84	17.24
食品ロス相当分	7,148.28	31.81

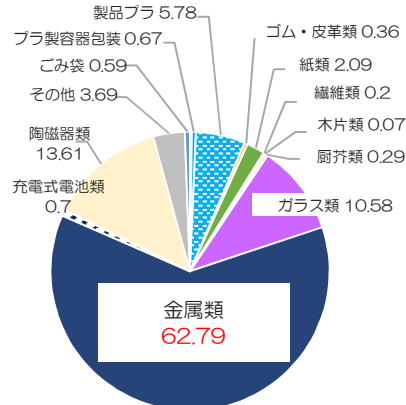
プラスチック製容器包装組成割合（重量比：％）



○組成概要

プラスチック製容器包装は85.82％を占め、そのうち汚れの激しいものが3.65％でした。また、ごみ袋を除く11.24％が異物であり、製品プラスチックや厨芥類、ペットボトルなどが混入しています。

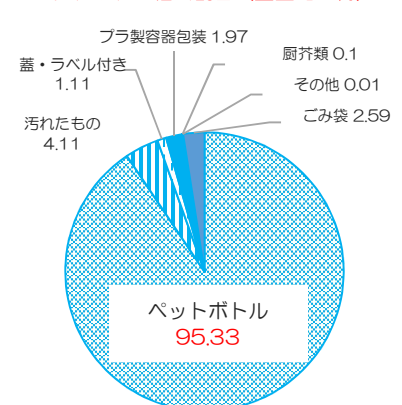
不燃ごみ組成割合（重量比：％）



○組成概要

小型家電や鍋等の金属類が62.79％と半分以上を占め、そのうち収集・処理工程における爆発・火災事故の原因とされる充電式電池は0.7％混入しています。次いで陶磁器類13.61％、ガラス類10.58％、プラスチック類が7.04％を占めています。

ペットボトル組成割合（重量比：％）



○組成概要

ペットボトルが95.33％と大半を占め、高い協力率が保たれていますが、そのうち汚れたものが4.11％、蓋・ラベル付きが1.11％含まれています。それ以外には、プラボトル等のプラスチック製容器包装が1.97％混入しています。

今後の方向性

今回実施した家庭系ごみ排出実態調査によって、食品ロスの削減や、資源化が可能な紙類及びプラスチック製容器包装等の分別の促進が課題であることが把握できました。今後もごみの発生抑制の促進を第一とし、それでも発生するごみのうち、食品ロスについては、フードドライブやてまどりキャンペーン等の取組みを継続し、資源化可能物については、分別方法をよりわかりやすく周知して資源化を促進し、さらなるごみの減量に向けた取組みを進めてまいります。

環境美化功労者に感謝状の贈呈

市内では地域ボランティアの清掃活動が活発に行われています。市は地域清掃活動に登録した団体等に、用具の貸出しやごみ袋の配布、清掃後のごみの回収などの支援を行っています。地域清掃活動団体に登録し、3年以上継続的にまちの美化に貢献した個人や団体を表彰しており、令和6年度（2024年度）の環境美化功労者として寺内自治会、株式会社日本スペリア社R&D事業部に感謝状を贈呈しました。



天竺会が憲法記念日市長表彰を受賞

憲法記念日市長表彰は、10年以上の活動を行い、地域社会の振興発展等に功績が顕著な団体及び個人を表彰しています。令和7年度（2025年度）公共関係功労者の部門で、アダプトシステム事業で現在も地域清掃活動を実施している天竺会が受賞されました。

